

令和8年2月19日

市民文教委員会

創造都市・文化振興課

### 浜松市生涯学習推進大綱の改定について（修正案）

令和7年11月10日の市民文教委員会において報告しました「浜松市生涯学習推進大綱(素案)」について、パブリック・コメントの実施及び浜松市社会教育委員会における審議を経て、別紙のとおり修正案を作成しましたので、ご報告いたします。

#### 1 パブリック・コメント制度に基づく意見募集結果

##### (1) 案の公表及び意見募集期間

令和7年11月19日（水）から令和7年12月19日（金）まで

##### (2) 意見提出者数

3人・6団体

##### (3) 意見数

45件（提案21件、要望9件、質問14件、その他1件）

##### (4) 提出方法

持参12件、郵便0件、電子メール10件、FAX0件、説明会等23件

##### (5) 案に対する反映度

案の修正15件、今後の参考8件、盛り込み済2件、その他20件

##### (6) パブリック・コメントに対する市の考え方

資料1（P3～P15）のとおり

##### (7) 市の考え方の公表時期

令和8年2月19日（木）

##### (8) 意見募集結果の公表先

創造都市・文化振興課、市政情報室、区役所、行政センター、支所、協働センター、ふれあいセンター、中央図書館、市民協働センター、市役所本館1階PRコーナーにて配布

浜松市ホームページに掲載

#### 2 大綱修正案

資料2（P17～P36）のとおり

#### 3 今後のスケジュール

令和8年3月 大綱の改定

令和8年4月 大綱の施行



# 浜松市生涯学習推進大綱(案) に対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と  
その意見に対する市の考え方の公表



令和7年11月から12月にかけて実施しました浜松市生涯学習推進大綱(案)に対する意見募集(パブリック・コメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民等3人・6団体から45件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「浜松市生涯学習推進大綱」を策定し、令和8年4月からの実施を予定しています。今後とも、浜松市生涯学習推進大綱に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ (<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>) にも掲載しております。

令和8年2月

浜松市市民部創造都市・文化振興課

〒430-8652 浜松市中央区元城町103-2

TEL 053-457-2413

FAX 050-3730-2887

Eメールアドレス

shogaigk@city.hamamatsu.shizuoka.jp

## 募集結果

|            |   |     |       |     |
|------------|---|-----|-------|-----|
| 【実施時期】     | 令和7年11月19日から令和7年12月19日                    |     |       |     |
| 【意見提出者数】   | 3人・6団体                                    |     |       |     |
| 【意見数内訳】    | 45件<br>(提案21件、要望9件、質問14件、その他1件)           |     |       |     |
| 【提出方法】     | 持参(12) 郵便(0) 電子メール(10) FAX(0)<br>説明会等(23) |     |       |     |
| 【案に対する反映度】 | 案の修正                                      | 15件 | 今後の参考 | 8件  |
|            | 盛り込み済                                     | 2件  | その他   | 20件 |

## 目次

表紙(意見数 2件)

改定に当たって(意見数 5件)

第1章 生涯学習とは

1. 生涯学習の理念(意見数 1件)
2. 生涯学習の分野(意見数 0件)
3. 生涯学習の目的や効果(意見数 1件)

第2章 改定の背景(意見数 0件)

1. 社会的な動向(意見数 0件)
2. 市民アンケート調査からの現状と課題(意見数 0件)

第3章 浜松市生涯学習推進大綱の目指す姿

1. 目指す姿(意見数 3件)
2. 基本的な方向性(意見数 0件)
3. 基本的な方向性の取り組み(意見数 20件)
4. 皆さんの学びを支える施設(意見数 1件)
5. 生涯学習推進大綱の位置づけ(意見数 3件)

付属資料(意見数 0件)

その他(意見数 9件)

## 1 表紙（2件）

|         |  |
|---------|--|
| 提案<br>1 | 子どものイラストを入れる。生涯学習は生涯にわたっているため、子どもの存在もある方がよい。 |
|---------|--|

### 【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、子どものイラストを追加しました。

|         |   |
|---------|---|
| 提案<br>2 | 表紙の1枚に3か所「浜松」が見られ、くどい感じ。目指す姿にある「浜松」は無いほうがすっきりすると思います。 |
|---------|---|

### 【市の考え方】その他

本大綱案の策定に向けた社会教育委員会での議論の中で、目指す姿に「浜松」を入れるべきとの意見が出されたことから、「浜松」までを含めて目指す姿としています。表紙には目指す姿を記載していますので、このままの表記とさせていただきます。

## 2 改定に当たって（5件）

|         |  |
|---------|--|
| 提案<br>1 | 見出しの「当たって」を「あたって」にする。ひらがなの方が柔らかな印象になる。 |
|---------|--|

### 【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、ひらがな表記に修正しました。

|         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| 提案<br>2 | 最終行に改定年月を入れる。裏表紙にはあるが、最初にもあるとよい。 |
|---------|----------------------------------|

### 【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、改定年月を追加しました。

|         |   |
|---------|---|
| 提案<br>3 | 脚注単語の右上の数字を(括弧)書きにする。たとえば Society5.0 の上付けの1がわかりにくい。 |
| 提案<br>4 | 脚注の数字のフォント及びポイントの統一。P5の4～6も同様。                      |
| 提案<br>5 | 脚注の番号の大きさの統一。P1の1、2だけ大きくなっています。どちらかに統一されるとよいと思います。  |

### 【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、脚注の数字について括弧書きに修正するとともに、ポイントを統一しました。

### 3 第1章 生涯学習とは

#### 1 生涯学習の理念（1件）

|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>提案<br/>1</b> | P2の「多面的思考力や創造性などの幅広いスキルの開発」というところは、もう少し解り易い表現にしていただければと思います。 |
|-----------------|--|

#### 【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、浜松市生涯学習推進大綱案の一部を修正しました。

#### 《修正内容》

##### （修正前）

「知識の獲得だけでなく、多面的思考力や創造性などの幅広いスキルの開発に取り組むことにより、教育を生涯にわたる継続的なプロセスとして捉えています。」

##### （修正後）

「知識の獲得だけでなく、さまざまな角度から考える力や創造力などの幅広い能力の獲得に取り組むことにより、教育を生涯にわたる継続的なプロセスとして捉えています。」

#### 3 生涯学習の目的や効果（1件）

|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>提案<br/>1</b> | P3の（2）「社会的弱者の社会参加」を「視覚、聴覚などさまざまなハンディキャップを持つ人の社会参加」にすればより具体的なイメージが湧くのではないのでしょうか。 |
|-----------------|---|

#### 【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、浜松市生涯学習推進大綱案の一部を修正しました。

#### 《修正内容》

##### （修正前）

「特にデジタルスキルの習得は情報格差の解消にもつながり、高齢者や社会的弱者の社会参加を促進します。」

##### （修正後）

「特にデジタルスキルの習得は情報格差の解消にもつながり、高齢者や身体的、精神的な状況により支援を必要とする方々の社会参加を促進します。」

### 4 第3章 浜松市生涯学習推進大綱の目指す姿

#### 1 目指す姿（3件）

|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>要望<br/>1</b> | 目指す姿が「学びを通して市民一人ひとりの幸福度が向上するまち・浜松」とあります。一人ひとりの幸福度が向上することは重要ですが、この先、世代、性別、生活環境、国籍を問わず、多様な価値観、人とは違う価値観で形作られた幸福感を持った人々が同じ地域の構成員であることを踏まえると、異なる幸福感を持った人々が共に生きていくことも目指す姿に加えていただきたいです。 |
|-----------------|--|

### 【市の考え方】盛り込み済

今回の改定の背景として、価値観の多様化や、多様な背景を持つ人々が互いを尊重し、それぞれの能力を発揮して社会に参加できる共生社会の構築の重要度の高まりがあります。その人の状態により区別せず、全ての人に生涯学習に取り組んでいただきたいとの思いから、目指す姿には「市民一人ひとり」、またサブタイトルには「人や地域とのつながりの中で」という表現を使用し、人と人とのつながりでそれぞれの幸福度が向上することをイメージしています。そのため、目指す姿には異なる幸福感を持った人々が共に生きていくことも含まれるものと考えています。

|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>質問<br/>1</b> | 市が目指す生涯学習の定義について、協働センターを軸としての活動を中心に考えているようで範囲が狭いように思われるが、この点について市の考えをお聞きしたい。 |
|-----------------|--|

### 【市の考え方】その他

今回の生涯学習推進大綱では、「人や地域とのつながりの中で、豊かさと安心感を得られるまち」を目指す姿でうたっており、協働センター・ふれあいセンター等はつながりをつくる地域の身近な学習拠点として重要な施設と捉えています。

生涯学習を行う場には様々な施設や手段があると考えており、本大綱でもその他の施設を紹介するとともに、生涯学習の目的や効果を示すことで、市民の皆さんが生涯学習に取り組む意識の醸成を図りたいと考えています。

|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>質問<br/>2</b> | キャッチフレーズの中に幸福度とありますが、この幸福度というものの測定する尺度というのはどのようなものなのか、教えてほしい。 |
|-----------------|---|

### 【市の考え方】その他

幸福度を測る尺度については、生活における満足感など、個人が感じる主観的・客観的な幸福感を数値化する方法などがあり、国等でも様々な考察がされています。

生涯学習に取り組むことは、自己肯定感の向上や社会とのつながりの構築による安心感の醸成など、個人の幸福感を高める効果が期待できることから、目指す姿の実現に向け、施策を進めてまいります。

### 3 基本的な方向性の取り組み（20件）

|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>提案<br/>1</b> | 「3 推進項目と主な取り組み」に変更してはどうか。P15資料1浜松市生涯学習推進体系図の一番上の小さい四角の表現と合わせた方がよい。 |
|-----------------|--|

### 【市の考え方】案の修正

寄せられたご意見により、浜松市生涯学習推進大綱案の一部を修正しました。

《修正内容》

（修正前）

「3. 基本的な方向性の取り組み」

（修正後）

「3. 推進項目と主な取り組み」

|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 質問 1 | 生涯学習の理念を含め、情報をどのように市民に提供するつもりか。 |
| 質問 2 | 生涯学習の情報を得る方法について教えていただきたい。      |

**【市の考え方】 その他**

浜松市ホームページに本大綱を掲載するとともに、各施設で閲覧できるように配付してまいります。ホームページ内では、講座・教室のイベント情報や講座情報が掲載された協働センターだよりなどを掲載しており、講座によってはインターネットからの申し込みも可能となっています。また、各地域の協働センター・ふれあいセンター等で開催される講座等の情報については、協働センター・ふれあいセンター等でチラシを配布するとともに、地域の回覧板でも周知しています。

|      |   |
|------|---|
| 提案 2 | 今の社会情勢により、生涯学習に取り組んでいるのは高齢者か子供で、働き盛りの世代は取り組む余裕がない。それらに対応出来るものであるべきと考える。 |
| 質問 3 | 基本的な方向性で、いつでもとあるのですが、例えば、オンデマンドで学べるような環境づくりがされるのですか。                    |

**【市の考え方】 その他**

生涯学習には様々な場所や手段があります。近年のデジタル技術の進展により、オンライン学習など時間や場所にとらわれない多様な学習方法が実現しています。また、国でも社会人の学びの機会の拡充に向け、情報提供や各種支援制度を実施しています。

|      |   |
|------|---|
| 要望 1 | 学習機会の充実に市内の大学や放送大学などと連携し、とありますが、放送大学は浜松市として誘致してきた大学ですので、もう少し案内を積極的にしていただいても良いのでは。 |
|------|---|

**【市の考え方】 今後の参考**

浜松市ホームページに放送大学の募集案内を掲載するとともに、関係部署でのパンフレットの配布等により、周知に努めてまいります。

|      |  |
|------|--|
| 質問 4 | 学習機会の充実、市内の大学や放送大学などと連携し、とありますが、この連携はどのような形ですか。市民が大学に行って勉強する、そのような機会があるということですか。 |
| 質問 5 | 「市内の大学等と連携して学び直しの機会を拡充」とあるが、具体的にどんなことをしているか。一般市民が大学へ行き、講義を受講できるというわけではないということか。  |

**【市の考え方】 その他**

市内の大学との連携により、大学の教員による市民アカデミーや大学生による講座を開催しています。また、市民が大学に行って勉強する機会としては、各大学が実施している公開講座や、県西部地域の7大学及び浜松市、磐田市、袋井市の3市

間の交流促進や教育環境の充実を目指して実施している大学共同授業などがあります。

|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>提案<br/>3</b> | P10の③学習環境の向上のところで、協働センターなどの学習拠点については…を文頭にし、専門性が高く…をそれに続けたほうが自然ではないでしょうか。生涯学習の拠点施設は協働センターと思います。 |
|-----------------|--|

**【市の考え方】案の修正**

寄せられたご意見により、浜松市生涯学習推進大綱案の一部を修正しました。

《修正内容》

(修正前)

「専門性が高く、地域の教育力向上に重要な役割を担っている図書館や博物館・美術館、浜松科学館の学習の場としての役割をさらに充実させます。また、協働センターなどの学習拠点については、地域要望に応じた生涯学習講座や自主事業の開催を進めるとともに、地域内の各団体の連携強化を図ります。」

(修正後)

「協働センターなどの学習拠点については、地域要望に応じた生涯学習講座や自主事業の開催を進めるとともに、地域内の各団体の連携強化を図ります。また、専門性が高く、地域の教育力向上に重要な役割を担っている図書館や博物館・美術館、浜松科学館の学習の場としての役割をさらに充実させます。」

|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>質問<br/>6</b> | P10 専門性の高い施設の役割の充実となっています。「施設の充実」や「施設機能の深化拡充」などではなく、「役割の充実」ということは具体的にはどのような状態を想定しているのでしょうか。 |
|-----------------|---|

**【市の考え方】その他**

図書館には地域の知の拠点として情報を収集、提供する役割、博物館・美術館には市民の皆さんが歴史や芸術に触れる機会を提供する役割、浜松科学館には科学への興味・関心を高め、科学的な探求心を育む役割などがあります。レファレンス機能の充実や学校との連携などにより、これらの役割をさらに充実させていくことを想定しています。

|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>要望<br/>2</b> | <p>具体的な学びの施設に専門性の高い施設が挙げられていますが、現状これらの施設の専門性のある司書、学芸員、ミュージアムエドゥケーター（浜松市博物館美術館では、教育普及係のかたでしょうか）からのプログラムは乏しいので、3の基本的な方向性の取り組みに、他の施設で提供されるプログラムも含めて、取り組み項目を追加していただきたいと思ひます。</p> <p>浜松市域が広範囲であるので、市民への学びの機会と質の担保のために、学習プログラムを循環させる仕組みも必要です。各館で実施しているアウトリーチを市域に展開しフィードバックし質を向上させる循環が、これから迎える社会の大きな変化に対応できるのではと考えます。</p> |
|-----------------|--|

### 【市の考え方】今後の参考

各施設で提供されるプログラムについては、基本的な方向性の取り組みの学習情報の提供の中で、様々な媒体により情報発信に努めてまいります。

寄せられたご意見を参考に、今後もICTの活用によるオンラインでの講座の開催や動画の配信、アンケートの結果を次の事業展開に反映させる取り組みなどを通じて、質の向上やアウトリーチの充実に努めてまいります。

|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>質問<br/>7</b> | ③学習環境の向上に老朽化施設については・・・と記載があるが、現在把握している施設はあるのか。 |
|-----------------|--|

### 【市の考え方】その他

最近の事例では、西図書館の移転リニューアル、浜松科学館の展示リニューアル、新津協働センター、浜北文化センター、アクトシティ浜松の大規模改修等を実施しています。

今後は、光明ふれあいセンター、南陽協働センター、南陽図書館、和地協働センター等の大規模改修を予定しています。

|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>質問<br/>8</b> | 「学習環境の向上」について、老朽化施設は耐震性の向上やユニバーサルデザイン化を推進するとある。三ヶ日支所はかなり老朽化しており、学習環境の向上という観点で、どのような方向で進めていけば改善できるかを示して欲しい。 |
|-----------------|--|

### 【市の考え方】その他

建築物の長寿命化を図り、長期的な財政負担の軽減・平準化と、市民への最適な公共サービスの提供及び安全で快適な公共建築物の創出を目的とした「公共施設等長寿命化計画」にのっとり、三ヶ日支所についてもあり方を検討していく予定です。

|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>質問<br/>9</b> | 生涯学習の推進に当たっては協働センターにもメニューがあるが、地域の中で活動していく上で、地域を引っ張っている人材が、どこの地域でも高齢化によって次にやれる人を探すのが難しい状況になっている。この大綱の中には、生涯学習を推進する上で、組織づくりなどは含まれているのか。 |
|-----------------|---|

### 【市の考え方】その他

生涯学習推進大綱は、役割や方向性などの概念を示すものですので、具体的な内容については掲載しておりませんが、組織づくりは学びの継続だけでなく、活力ある持続可能な地域づくりにおいても重要な要素となりますので、関係部署と連携して取り組んでまいります。

|                  |  |
|------------------|--|
| <b>質問<br/>10</b> | ①学習情報の提供に「協働センターなどの担当者が適切な情報提供やアドバイスを行えるよう、対応力の向上を図ります」、③学習環境の向上に「地域内の各団体の連携化を図ります」とあるが、協働センター職員の負担増につながらないのか。 |
|------------------|--|

### 【市の考え方】その他

協働センターの職員には、地域の相談に対し解決策をアドバイスすること、地域の人材情報や他の地域団体の活動事例などを地域へ提供すること、生涯学習講座や

協働センター自主事業の企画及び運営、各地域団体の行事運営に関する指導・助言、各種団体間の連携促進などへの対応が求められています。これらの職務の参考になる研修を実施し、職員の対応力の向上を図るものです。なお、これまでも年1回以上の研修を実施しています。

|                  |   |
|------------------|---|
| <b>質問<br/>11</b> | ①参加・活動の場の拡大の○人材発掘、人材登録体制の整備に、知識や技能を持つ人と、それを求める人を結びつける人材登録制度を整備しますとあるが、具体的にはどのようなものなのか。  |
| <b>提案<br/>4</b>  | 学習成果を発揮する機会や場づくりと啓発活動ということで、学びを適切に生かすことができるよう、地域の学習拠点等で市民が講師や指導者として活躍する場を設けますとあるが、こういうことを子供たちに教えることができる、サポートできるという人を登録しておいて、学校でそのような人材が必要な時に依頼できるような方法があれば、地域との連携や、地域で学校を支えていく助けになるのではないかと。 |

**【市の考え方】 その他**

具体的な事例として、以下の取り組みを実施しています。

①生涯学習講師登録

これまで身に付けてきた経験や専門的な知識や技術・技能等のノウハウを生かすことを希望する方に、主に協働センター・ふれあいセンター等における講座・教室・講演会等の講師として活躍する場や機会を提供することを目的とした制度です。

スポーツや芸術、歴史、語学、料理など、様々な分野で多数の人材が登録されています。

②はままつ人づくりネットワークセンター

地域の魅力的な人材や企業、団体を登録し、学校の教育活動などに提供するもので、浜松市立小中学校の教員、土曜学習、放課後の子供の居場所づくり（放課後児童会や放課後子供教室等）の運営主体などが、授業、講座等を実施する際に利用することができます。

各学年の授業内容に応じた講座や、施設・工場見学、体験活動などのメニューがあります。

|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>提案<br/>5</b> | 地域づくりの意識高揚とあります。意識高揚というのは、精神的に活動性が高まって、一時的にモチベーションや熱意が向上する状態を指すと、あくまでもこれは一時的な感じですが。普通に向上とか、そのような一般的な言葉でいいのではと思います。 |
|-----------------|--|

**【市の考え方】 案の修正**

寄せられたご意見により、浜松市生涯学習推進大綱案の一部を修正しました。

《修正内容》

(修正前)

「地域づくりの意識高揚」

(修正後)

「地域づくりの意識の醸成」

|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>提案<br/>6</b> | <p>イラスト部分【黄色のところ】の文の「あなたも生涯学習に取り組んでみませんか。」を「生涯学習はあなたのためにあります。」的な表現に<br/>してはどうか。</p> <p>新聞を読む、ラジオの講座を聴く、ボランティア参加も生涯学習です。<br/>どの人も知らないうちに生涯学習に携わっています。取り組むというと<br/>勇気が必要だったり、苦手だからとか思っている人にはハードルが高い<br/>のでは。</p> |
| <b>提案<br/>7</b> | <p>イラスト部分【黄色のところ】の文の「たくさんの施設」を「たくさ<br/>んの機会や施設」にしてはどうか。</p> <p>教育基本法第3条に「あらゆる機会に、あらゆる場所において」とあ<br/>り、また、施設だけでなくオンラインでも行われる講演会や講座などは<br/>機会と表現できると思うから。</p>   |

#### 【市の考え方】案の修正

市民の皆さんに生涯学習に取り組んでいただきたいとの思いから、積極的な呼びかけの表現としています。ご提案の「生涯学習はあなたのためにあります。」は、穏やかに生涯学習の意義を伝えるために適切な表現と思われるので、浜松市生涯学習推進大綱案の一部を修正し、両方を併記してまいります。

また、「機会」を追加してまいります。

#### 《修正内容》

(修正前)

「あなたも生涯学習に取り組んでみませんか。

浜松市には、皆さんの学びを支えるたくさんの施設があります。」

(修正後)

「生涯学習はあなたのためにあります。

あなたも生涯学習に取り組んでみませんか。

浜松市には、皆さんの学びを支えるたくさんの機会や施設があります。」

#### 4 皆さんの学びを支える施設（意見数 1件）

|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>要望<br/>1</b> | <p>地域の学習ニーズに応じて生涯学習を総合的に支援する施設とあります。これらの施設では、地域の学習ニーズだけではなく、大綱で繰り返し記載がある大きな社会の変化をリサーチし、地域の学習ニーズに先駆けた生涯学習を推進する役割も加えて下さい。</p> |
|-----------------|---|

#### 【市の考え方】盛り込み済

協働センター、支所やふれあいセンターなどの地域の学習・交流拠点で開催する事業については、ウェルビーイング意識の向上や共生社会の構築、デジタル化の進展など、社会の変化に対応したメニューも取り入れるよう検討しています。

#### 5 生涯学習推進大綱の位置づけ（意見数 3件）

|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>提案<br/>1</b> | <p>5. 生涯学習推進大綱の位置づけの1落目に現行大綱P18の図の上半分だけでも載せる。</p> <p>推進大綱の位置づけの段落がよりわかりやすくなると思うから。</p> |
|-----------------|--|

### 【市の考え方】 その他

現行大綱では戦略計画による大綱の管理イメージ図を掲載していましたが、大綱案全体の記載内容を見直す中で、表記の簡素化を図るため、今回の大綱では図を省略したものです。

|                 |  |
|-----------------|--|
| <b>提案<br/>2</b> | <p>【推進体制】の文中「創造都市・文化振興課をはじめ関係部署、浜松市社会教育委員会、地域団体、その他の団体が相互に連携」を「創造都市……浜松市社会教育委員会は地域団体、その他の団体と相互に……」としてはどうか。</p> <p>中央部分の図からもわかるように、地域団体、その他の団体に対応するのは行政であり、創造都市～浜松市社会教育委員会までを行政のひとくくりとしているから。</p> |
|-----------------|--|

### 【市の考え方】 案の修正

寄せられたご意見により、浜松市生涯学習推進大綱案の一部を修正しました。

#### 《修正内容》

(修正前)

「創造都市・文化振興課をはじめ関係部署、浜松市社会教育委員会、地域団体、その他の団体が相互に連携、協働して「学びとつながりの環」をつくり、生涯学習を推進していきます。」

(修正後)

「創造都市・文化振興課をはじめ関係部署、浜松市社会教育委員会は、地域団体、その他の団体と相互に連携、協働して「学びとつながりの環」をつくり、生涯学習を推進していきます。」

|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>提案<br/>3</b> | <p>学びとつながりの環の図を別添イメージ図のような感じで。</p> <p>それぞれのタイトル(学びとつながりの輪、生涯学習の場)の意味が強調されるのではないか。協働、連携を表す一番下の黄色の円が目立たないことと緑の⇄がわかりにくいから。</p> <p>この図が変わらない場合、「地域団体、その他の団体、行政」の赤と矢印の緑をもう少し柔らかな色を使用する方が良い。大綱全体に使われている色が淡い系であるが、この赤と緑の色が濃いように感じるので、色彩的にも統一感があると良い。</p> |
|-----------------|---|

### 【市の考え方】 案の修正

寄せられたご意見により、学びとつながりの環の図を修正しました。

## 5 その他（9件）

|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>要望<br/>1</b> | <p>施行後、広報はままつ特集ページで紹介してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習とは(講座等に参加するだけが生涯学習ではなく、音楽、スポーツ他、個で行われている読書、習い事やボランティアなども生涯学習の一つであることを表現した4コマ漫画で紹介するとか)</li> <li>・大綱の概要</li> <li>・「浜松市生涯学習に関する意識活動実態調査報告書」中の特記事項</li> <li>・学習施設の紹介など</li> </ul> <p>○実態調査報告書から気づいたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習そのものが自分とかけ離れていると思っている人が多い</li> <li>・一人では参加しにくい</li> <li>・広報はままつの講座に参加したくても定員超えでできない</li> <li>・実態調査の結果を知りたい等</li> </ul> <p>○生涯学習はいつでもどこでも誰にでもできることを、もっと知ってもらえるとよいから。</p> <p>○これまで私が思っていたより、皆さん、広報はままつを見ていることを知ったから。</p> |
| <b>要望<br/>2</b> | <p>広報はままつの後半には、いろいろ生涯学習に係る案内が紹介されていますが、もっとページの構成を工夫いただき、市民が取り組みやすい、誰でも参加できるというよう、繋がっていく紹介を作っていただければと願います。</p>   |

### 【市の考え方】今後の参考

生涯学習には、人生を豊かにする様々な効果が期待できることから、今後も様々な機会を通じて生涯学習に取り組む意義の啓発を進めるとともに、開催講座などの生涯学習情報の提供に努めてまいります。

|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>質問<br/>1</b> | <p>市内の生涯学習団体と学校における部活動の地域展開を結びつけることは想定しているか。</p>                            |
| <b>提案<br/>1</b> | <p>部活動の指導者が足りない問題に対して、生涯学習での活動を把握してもらえれば、講師の派遣ができ、指導者不足も解消できるのではないかと思う。</p> |

### 【市の考え方】その他

中学校部活動の地域展開については学校・地域連携課、協働センターなどで活動する地域活動団体については市民協働・地域政策課の所管となりますので、それぞれの所管課と情報共有をする中で、様々なケースを想定して検討してまいります。

|         |  |
|---------|--|
| 要望<br>3 | 生涯学習をさらに広めるために、市民がやりがいや目的をもって生涯学習ができる仕組みを検討してほしい。                          |
| 要望<br>4 | 市民一人ひとりが自発的に学び活動できる生涯学習は、豊かな暮らしの実現のために是非、継続的に行っていただきたい。                    |
| 提案<br>2 | 生涯学習の講座受講者の意見を聞いてもらえる仕組みがあるとよい。地域の活性化、あるいは人間の成長を促すような取り組み方ができれば、利用が増えると思う。 |

**【市の考え方】 今後の参考**

生涯学習の意義を広く啓発するとともに、アンケートの実施等により受講者のニーズの把握に努めます。また、学習成果を活用する場の提供や交流の促進に取り組み、やりがいや地域の活性化につなげていきます。

寄せられたご意見を参考に、今後も様々な機会を通じて、市民一人ひとりが自発的に生涯学習に取り組む意欲の醸成を図るとともに、個人の成長が地域の活性化につながるような環境づくりを推進してまいります。

|         |   |
|---------|---|
| 要望<br>5 | 協働センターの利用申請について、不便を感じている。どこの協働センターにおいても申請することができ、予約開始日も統一してほしい。 |
|---------|---|

**【市の考え方】 その他**

協働センターの利用申請については、基本的に1か月前からとなっていますが、地域のコミュニティ活動を通じた地域づくりに貢献している団体または社会教育法に規定する社会教育関係団体については優遇措置を設けており、2か月前からの予約が可能となっています。(中部協働センターのみいずれも6か月前から)

なお、スポーツ・文化施設予約システム「まつぼっくり」を利用することにより、全ての協働センターの予約をすることが可能です。

|     |  |
|-----|--|
| その他 | 生涯を通して学ぶことで、知識や技術を習得したり、人とのつながりができたり、何らかの形で社会に関わっていくことは、誠に得難いことであり、今のように、変化の激しい時には特に大切なことと思います。その意味で、生涯学習について改めて行政の基本的な考え方を示されることは、誠に時宜を得たものと大いに評価させていただきます。 |
|-----|--|

**【市の考え方】 その他**

生涯学習は、知識や技術の習得にとどまらず、個人の豊かな人生の実現と、地域の活性化に重要な役割を果たすものです。

寄せられたご意見を参考に、今後も生涯学習の推進に取り組んでまいります。



# 浜松市生涯学習推進大綱

(修正案)

学びを通して市民一人ひとりの幸福度が向上するまち・浜松



## 目 次

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| 改定にあたって.....                      | 1  |
| 第1章 生涯学習とは.....                   | 2  |
| 1. 生涯学習の理念.....                   | 2  |
| 2. 生涯学習の分野.....                   | 2  |
| 3. 生涯学習の目的や効果.....                | 3  |
| 第2章 改定の背景.....                    | 4  |
| 1. 社会的な動向.....                    | 4  |
| 2. 市民アンケート調査からの現状と課題.....         | 6  |
| 第3章 浜松市生涯学習推進大綱の目指す姿.....         | 8  |
| 1. 目指す姿.....                      | 8  |
| 2. 基本的な方向性.....                   | 8  |
| 3. 推進項目と主な取り組み.....               | 9  |
| 4. 皆さんの学びを支える施設.....              | 13 |
| 5. 生涯学習推進大綱の位置づけ.....             | 14 |
| 附属資料.....                         | 15 |
| 資料1 浜松市生涯学習推進体系.....              | 15 |
| 資料2 大綱改定にかかわる浜松市社会教育委員会の開催経過..... | 16 |
| 資料3 浜松市社会教育委員会委員名簿.....           | 17 |

## 改定にあたって

生涯学習は、すべての人々がより豊かな人生を送ることができるよう、個人の自発的意思に基づいて行うことを基本として、生涯を通じて行うものです。

浜松市は平成2年10月、「浜松市生涯学習推進大綱」を策定し、社会の急激な変化の中で、人々がそれぞれの希望に応じて学習することができる「生涯学習体系への移行」に向けた取り組みの方向性をまとめました。

その後、平成17年7月の天竜川・浜名湖地域12市町村の合併を経て、平成19年4月に政令指定都市へと移行し、生涯学習事業の対象地域も拡大したことから、平成21年3月「浜松市生涯学習推進大綱」を改定し、施策の指針となる「浜松市生涯学習推進体系」をまとめました。

今般、人生100年時代の到来や人口減少の更なる進行、デジタル化の進展による超スマート社会(Society5.0<sup>(1)</sup>)の構想など、より大きな社会変化が訪れています。

国においては、平成29年3月の社会教育法の改正で地域学校協働活動<sup>(2)</sup>を位置づけました。また、令和5年6月に「第4期教育振興基本計画」が閣議決定され、変化する社会の中で、一人ひとりがその担い手になること、そして社会全体のウェルビーイング<sup>(3)</sup>の向上を目指す、基本方針や政策目標が示されました。

浜松市においては、令和6年1月の7区から3区への行政区の再編により、区ごとの人口や特性に大きな差が生じるとともに、行政と市民との協働による地域自治の在り方も大きく変わろうとしています。

このような社会の大きな変化の中で、市民一人ひとりが、それぞれ夢や好奇心を持って自発的に学び活動する生涯学習が、幸福を実感できる豊かな暮らしの実現のために重要となっています。

そこで、このたび「浜松市生涯学習推進大綱」を改定し、市民の皆さんが生涯学習に取り組む際の新たな指針としてお示しするとともに、この大綱を基に、市民の皆さんの幸福度の向上に向け、施策を進めてまいります。

令和8年3月

<sup>(1)</sup> Society5.0:サイバー空間とフィジカル(現実)空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会。

<sup>(2)</sup> 地域学校協働活動:地域住民や保護者、NPO、民間企業、団体等の幅広い参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動。

<sup>(3)</sup> ウェルビーイング:肉体的、精神的、社会的に満たされた状態にあること。

## 第1章 生涯学習とは

### 1. 生涯学習の理念

教育基本法第三条では、生涯学習の理念が次のように示されています。

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

生涯学習の理念では、人々が生涯を通じて自発的に学び続けることを重視しています。年齢や社会的立場に関わらず、多様な形態での学習により、個人の成長と社会の発展を目指すもので、急速に変化する社会への適応を促進します。また、知識の獲得だけでなく、さまざまな角度から考える力や創造力などの幅広い能力の獲得に取り組むことにより、教育を生涯にわたる継続的なプロセスとして捉えています。

知りたい、やりたいと思ったこと、続けていること、新しく始めること。生涯学習は個人の夢や好奇心から始まります。まず行動を起こすことで、新しい知識や技能を得る楽しさを感じられ、新しい仲間との出会いがお互いの能力を高めます。

さらに、学びを通じた人と人とのつながりは、次の学びのきっかけを生むとともに、仲間の輪を広げることで地域力が向上し、現代社会が直面する様々な課題解決につながります。そして、一人ひとりの学びや経験を地域に生かし、周囲を巻き込むことで、住みよい社会が築かれ、豊かな生活を実現できるのです。



### 2. 生涯学習の分野

生涯学習は、生涯の様々な場面や機会で行うあらゆる学習活動のことで、家庭教育をはじめ、学校教育や社会教育、文化・スポーツ・レクリエーション、地域活動やボランティア活動、趣味、仕事上の知識や技術の習得など、様々な分野にわたる広範な学習活動を指しています。

### 3. 生涯学習の目的や効果

生涯学習の目的は、個人の成長を通して豊かで充実した人生を送ることにあります。学びの喜びや出会いは生きがいにつながり、学習で社会の変化に適応する能力が培われることで、生活の質の向上とともに、社会全体の発展が期待されます。

#### (1) 探求心・向上心の充足

生涯学習において自分の夢や好奇心に基づいて学ぶことは、学習意欲を高め、継続的な学びにつながります。また、好きなことを学ぶことで達成感を得られ、ストレス解消やリフレッシュ効果が期待できるとともに、自己肯定感や人生の充実度の向上につながります。



#### (2) 新しい知識や技術の習得

生涯学習を通して新しい知識や技術を身につけることは、現代社会の急速な変化に対応するために不可欠です。また、新しい知識を学ぶことで問題解決能力や創造的思考が育まれます。特にデジタルスキルの習得は情報格差の解消にもつながり、高齢者や身体的、精神的な状況により支援を必要とする方々の社会参加を促進します。

#### (3) 学びを通じた人とのつながりの構築

共通の興味を持つ人たちとの交流や世代の違う人たちとの出会いは、新たな人間関係を構築する機会となり、社会的孤立の防止にも役立ちます。特に高齢化が進む中で、学びを通じた人と人とのつながりは、心身の健康維持に不可欠です。また、地域コミュニティの活性化や社会の寛容性、結束力の向上にも寄与します。

#### (4) 学びを通じた社会参加の機会の創出

生涯学習は退職後も含めた社会参加の機会を提供し、個人の自己有用感を高めるとともに社会の持続可能性に貢献します。若年層にとっても、実践的な社会参加の機会として重要な役割を果たします。学びを通して得た知識やスキルを活かして地域活動に参加することで、社会貢献にもつながります。

#### (5) 学びを通じた地域課題の解決

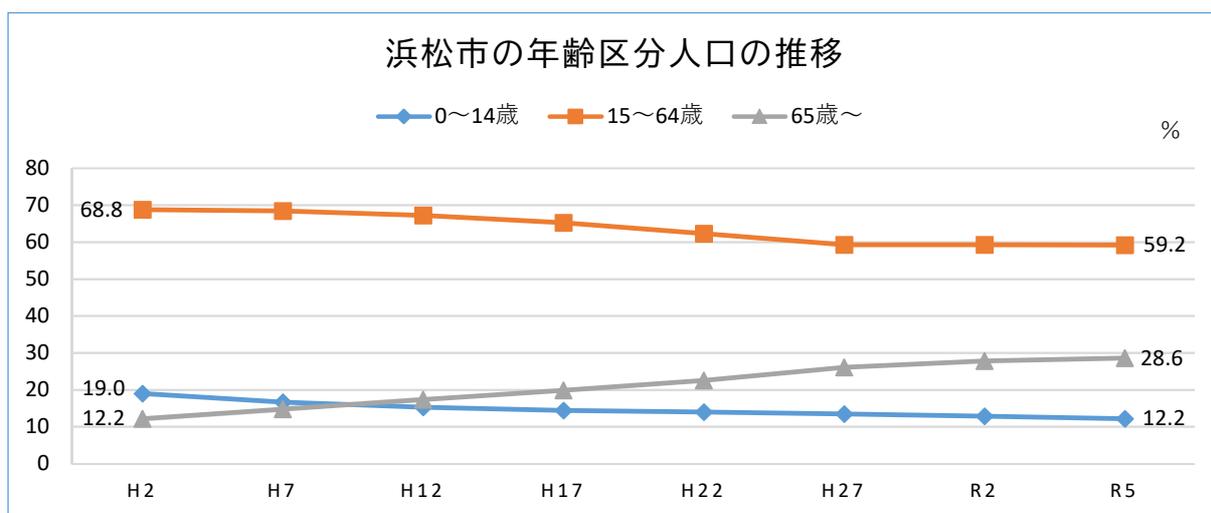
地域の課題や歴史・文化を学ぶことで、住民が主体的に課題解決に取り組む力が培われ、地域社会の発展が期待されます。また、多様な専門性を持つ人たちの協働は、効果的な解決策の提案につながります。特に、地域に根ざした学習活動は、持続可能な地域づくりにも貢献します。

## 第2章 改定の背景

### 1. 社会的な動向

#### (1) 少子化・高齢化・人口減少

少子化・高齢化・人口減少の進展は、労働力不足や地域社会の活力低下、コミュニティの維持が困難になる地域の増加につながります。生涯学習の推進は、スキルアップによる労働力不足への対応とともに、高齢者の社会参加を促進し、世代間交流による地域コミュニティの維持・活性につながることから、その重要性が高まっています。



※平成2年度と令和5年度を比較すると、14歳以下は19.0%から12.2%に減少し、65歳以上は12.2%から28.6%に増加しています。(浜松市統計表数値から)

#### (2) ウェルビーイングの向上に向けた意識の向上

ウェルビーイングへの関心の高まりから、心身の健康を考慮した学習環境づくり、趣味や自己実現のための学びが重要視され、精神的充足感や自己成長を求める学習活動が注目されています。また、ストレス軽減やメンタルヘルス向上のニーズも高まっており、心身の健康や幸福感を高める学習プログラムの需要が増加しています。

#### (3) 人と人とのつながりの希薄化

都市化の進展や核家族化、単身世帯の増加などにより、社会的なつながりが減少し、人間関係の希薄化が進行しています。このことは、孤独や孤立の増加や治安の悪化、地域の防災力や支援力の低下につながるため、地域コミュニティの活性化など、地域全体でつながりを再構築する必要性が高まっています。

#### (4)地域と学校との連携の推進

平成 29 年3月の社会教育法の改正により、地域の住民や団体が学校と連携・協働して、地域全体で子どもたちの学びや成長を支援し、「学校を核とした地域づくり」を目指す地域学校協働活動が市町村教育委員会の事務として位置づけられました。これにより、各自治体では、コミュニティ・スクール<sup>(4)</sup>との一体的な推進など、地域と学校とのさらなる協働が求められています。

#### (5)人生 100 年時代の新たな学びの必要性

人生 100 年時代の到来により、シニア層の社会参加や健康維持のための学習の必要性が高まっています。また、長期的なキャリア形成や自己実現に向けては、リカレント教育<sup>(5)</sup>などの継続的な学びが不可欠となっており、生涯にわたる学習習慣の形成が重要になっています。

#### (6)共生社会の構築の重要性の高まり

浜松市の外国人市民は増加傾向にあり、多文化共生の取り組みは欠かすことができません。また、現代社会は価値観の多様化が進むとともに、障害の有無や生活環境の違いなど、多様な背景を持つ人々が共に暮らしていることから、互いを尊重し、それぞれの能力を發揮して社会に参加できる共生社会の構築が重要になっています。



#### (7)持続可能な社会に向けた取り組み(SDGs<sup>(6)</sup>)

SDGs の達成に向けて、環境問題や社会課題への理解を深め、地域社会での実践的な取り組みを促進することが求められています。これにより、SDGs 達成に貢献するための学習ニーズが増加し、主体的な行動変容を促す学習が重視されています。また、地域社会における SDGs 達成に向けた学習の推進も求められています。

#### (8)デジタル技術の進展

デジタル技術の進展により生涯学習の機会が大きく拡大し、オンライン学習やAIを活用した個別最適化学習など、時間や場所にとらわれない多様な学習方法が実現しています。一方で、情報活用能力の格差が学習機会の格差につながる可能性があり、全世代で情報活用能力の向上に対応した学習プログラムの必要性が高まっています。

<sup>(4)</sup> コミュニティ・スクール：学校・家庭・地域が力を合わせて学校運営に取り組む仕組みである学校運営協議会を設置した学校を指す。浜松市では、全ての市立小中高等学校に設置済。学校運営協議会では、学校運営の基本方針の承認や学校運営への意見の提出など、学校運営の支援に関する協議が行われる。

<sup>(5)</sup> リカレント教育：社会人になってからも必要に応じて再び教育を受け、学び直すこと。

<sup>(6)</sup> SDGs：誰一人取り残さないことを目指し、持続可能な世界を実現するために 2030 年までに達成すべき 17 の開発目標。

## 2. 市民アンケート調査からの現状と課題

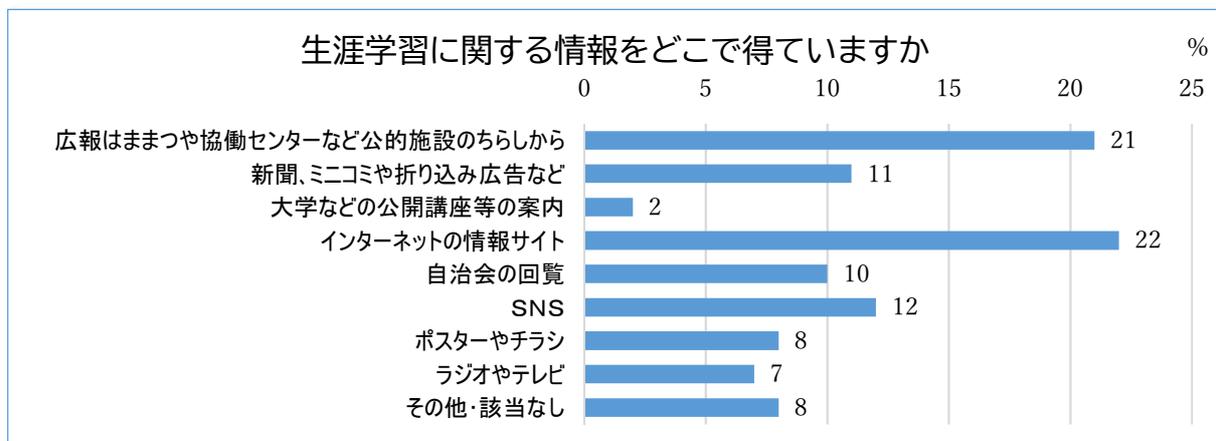
浜松市では、市民の皆さんの生涯学習活動に対する考え方や活動状況を把握するため、市内在住の18歳以上の市民の方2,000人を対象にアンケート調査を実施しました。(回収率:30.3%) アンケート調査から見える現状と課題は以下のとおりです。

### (1) 学習活動への参加について

生涯学習活動を行っている人は半数強(52.4%)で、学習や活動を行うきっかけは「自ら興味を持ったから」が65%を占めています。しかし、「時間的余裕のなさ」や「きっかけがつかめないこと」などが支障となっており、仕事や子育て、介護などのため学習に取り組めないとの意見も多く寄せられています。

### (2) 情報提供について

生涯学習に関する情報は、インターネットと公的施設のチラシが主な入手先となっています。70代以上は広報はままつやチラシなどの紙媒体、若い世代はSNSの利用が顕著で、情報取得方法に世代差があります。また、もっと宣伝・発信してほしいとの意見が多く寄せられ、積極的な情報発信が強く求められています。

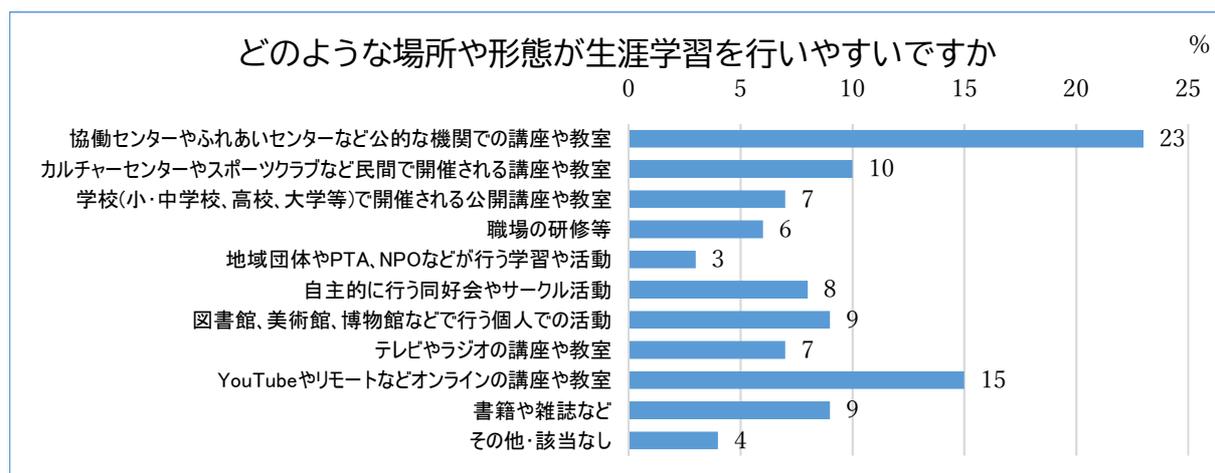


### (3) 学習内容について

学習内容では、自身や家族の「健康」への関心が非常に高く、「心身の健康の維持向上」に対する意識が高くなっています。また、今後学んでみたい分野としては「音楽、美術、文化など趣味や教養に関すること」「健康や医療、介護に関すること」「運動やスポーツ、レクリエーションに関すること」が上位を占めていますが、「インターネットやスマートフォンなど情報社会への対応に関すること」のニーズも高く、幅広い年代で情報格差の解消への関心が見られます。そして、社会課題では「年金や老後の健康」「自分や家族の健康」「防災対策」が全世代的に認識されています。

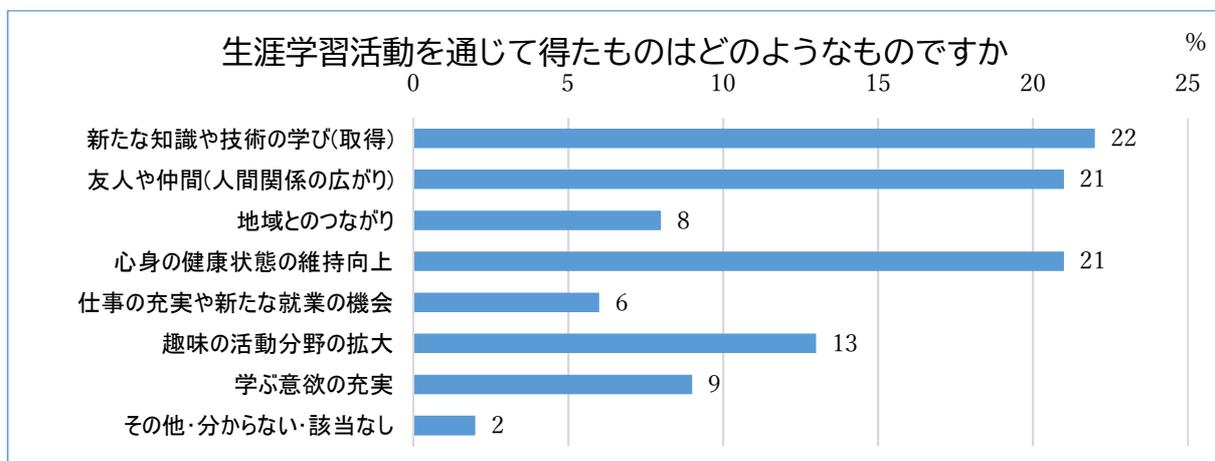
#### (4) 学びやすさについて

学びやすい場所は「協働センターやふれあいセンターなど公的な機関での講座や教室」が最多で、特に60代以上の女性に支持されている一方、50代以下は「オンラインの講座や教室」も多くなっています。また、学びにくさの要因として、身近に場所がないことや移動の困難さが挙げられており、アクセスの向上や託児付き教室、単発のワークショップなどの取り組みを望む意見が寄せられるなど、参加のハードルを下げる工夫が求められています。



#### (5) 活動を通して得たものと生かし方について

生涯学習活動を通して得られたものとして「新たな知識や技術の学び」「心身の健康状態の維持向上」「友人や仲間(人間関係の広がり)」が上位を占め、それらが「健康の維持・増進」「日々の生活の様々な場面」「自己の充足感や意識の向上」に生かされています。一方で、「地域とのつながり」への貢献は低い傾向があり、今後は様々な事業を通して学習自体を深めるとともに、地域や人とのつながりの拡大など、地域交流への発展が期待されます。



◆[浜松市生涯学習に関する意識活動実態調査](#)(令和6年7月実施)



## 第3章 浜松市生涯学習推進大綱の目指す姿

### 1. 目指す姿

学びを通して市民一人ひとりの幸福度が向上するまち・浜松  
～人や地域とのつながりの中で、豊かさと安心感を得られるまち～

生涯学習に取り組むことは、個人の幸福度だけでなく、共に学ぶ仲間同士の幸福度の向上にも寄与します。そして、広がったつながりが地域社会全体を支えることで安心感が生まれ、それがさらに個人の幸福度を向上させます。

浜松市は、生涯学習の推進により、市民一人ひとりの幸福度の向上を目指します。



### 2. 基本的な方向性

目指す姿の実現に向けて2つの方向性を定め、施策を推進していきます。

#### I いつでも、だれでも、希望に応じて学ぶことができる環境づくり

- ①多様な情報媒体を活用するとともに、学習担当者の資質向上を図ることで、学習情報の提供に努めます。
- ②自己啓発や生活向上、地域づくりに資する学習機会を提供するとともに、市内の大学などと連携して学び直しの機会を拡充するなど、学習機会の充実を図ります。
- ③専門性の高い施設の役割の充実、協働センターなどの学習関連施設の耐震性向上やユニバーサルデザイン化の推進などにより、学習環境の向上を図ります。

#### II 学びを生かし、発展させることができる仕組みづくり

- ①市民が講師として活躍する場の創出や地域人材の登録などにより、参加・活動の場の拡大を図るとともに、地域づくりの意識高揚に努めます。
- ②地域リーダーや地域ボランティアの養成などにより、人材の育成を図ります。

### 3. 推進項目と主な取り組み

#### I いつでも、だれでも、希望に応じて学ぶことができる環境づくり

広大な市域を持つ浜松市では、学習施設の配置や取り組み内容など、生涯学習の環境は地域ごとに違いが見られます。また、年齢や職業など、それぞれの立場により、情報の入手方法や可能な学習方法が異なっています。

浜松市では、すべての市民が学びたいときに学べるよう、行政と地域団体、民間などのその他の団体が協力して多様な学習機会を確保するなど、学習環境の整備を進めていきます。

#### ①学習情報の提供

より多くの市民の皆さんに学びのきっかけとなる学習情報が届くよう、様々な情報媒体を活用するとともに、庁内の関係部署との協力、県や市民団体、NPO などとの連携により、情報提供の充実に努めます。また、窓口となる協働センターなどの職員が適切な情報提供やアドバイスを行えるよう研修を行い、対応力の向上を図ります。

#### ○各種媒体による講座情報の周知

- ・広報はままつや協働センターだよりでの周知
- ・オープンデータの活用による講座情報の一元的な提供など

#### ○職員研修の実施

- ・地域コミュニティの形成や講座づくりの研修の実施など



#### ②学習機会の充実

子どもから高齢者まで、市民一人ひとりの「自己啓発と生活向上のための学習」と「地域づくりに貢献する学習」の機会の充実に努めます。特に関心の高い健康分野や情報活用については、内容の充実に努めます。また、誰もが必要なときに学び、新たな挑戦ができるよう、DX<sup>(7)</sup>を推進するとともに、市内の大学や放送大学などと連携し、学び直しの機会も拡充していきます。

<sup>(7)</sup> DX：デジタル・トランスフォーメーションの略で、デジタル技術の活用により改革・効率化を図ること。

### ○協働センター等での各種講座の開催

- ・浜松ヒューマンセミナー、子ども講座、子育て教室、女性学級、アクティブ・シニア講座、地域づくり講座、地域文化セミナーなど、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした講座の開催



### ○市内大学との連携による講座の開催

- ・大学教員による浜松市民アカデミーの開催
- ・大学生による講座の開催

### ○浜松 IT キッズプロジェクトなど子どもの才能を伸ばす課外講座の開催

### ○アクトシティ音楽院での各種音楽ソフト事業の実施など、施設の指定管理者による生涯学習事業の実施

### ○浜松市職員による出前講座の実施

### ○各種団体等との共催による生涯学習事業の実施、後援など



## ③学習環境の向上

協働センターなどの学習拠点については、地域要望に応じた生涯学習講座や自主事業の開催を進めるとともに、地域内の各団体の連携強化を図ります。また、専門性が高く、地域の教育力向上に重要な役割を担っている図書館や博物館・美術館、浜松科学館の学習の場としての役割をさらに充実させます。

そして、老朽化した施設については、耐震性の向上やユニバーサルデザイン化を推進し、誰もが安心して利用できる環境を整備するとともに、計画的な改修により長寿命化を図り、既存施設の有効活用を進めます。

### ○専門性の高い施設の役割の充実

- ・図書館のレファレンスサービスの強化、地域資料の積極的な収集・保存・提供
- ・各施設での学芸員による講座やワークショップなどの参加型イベントの開催など

### ○施設の整備

- ・西図書館の移転リニューアル、浜松科学館の展示リニューアル
- ・新津協働センター、浜北文化センター、アクトシティ浜松の大規模改修など

## Ⅱ 学びを生かし、発展させることができる仕組みづくり

学習成果を講師活動やボランティア活動などの様々な機会や場で発揮することは、個人の学びを深めるだけでなく、コミュニティの醸成にも寄与し、安心して暮らせる地域社会の形成につながります。また、生涯学習を推進するためには、学習活動の中核となる人材の育成が不可欠です。

浜松市では、地域の実情に応じて、様々な組織や団体と連携しながら、学習成果を生かす仕組みの構築に取り組みます。

### ①参加・活動の場の拡大

#### ○人材発掘、人材登録体制の整備

自治会、ボランティア団体、NPO、企業等と連携し、地域の人材を発掘します。また、知識や技能を持つ人と、それを求める人を結びつける人材登録制度を整備します。

- 生涯学習講師の登録、活用
- 地域学校協働活動ボランティアの登録、活用
- はままつ人づくりネットワークセンターの運営による学校教育での人材の活用など

詳しくはこちら

[生涯学習講師登録](#)



[地域学校協働活動ボランティア](#)



[はままつ人づくりネットワークセンター](#)



#### ○学習成果を発揮する機会や場づくりと啓発活動

学びを適切に生かすことができるよう、地域の学習拠点等で市民が講師や指導者として活躍する場を設けます。特に高齢者や団塊世代の知識・経験を次世代に伝える機会を創出することで、生きがいや地域のつながりづくりにつなげていきます。また、学習成果を発揮することの意義について啓発活動を行い、地域の理解と協力を得られるよう努めます。

- 学習成果活用事業での市民や団体による講座の開催
- 環境学習指導者による移動環境教室の実施など

詳しくはこちら

[学習成果活用事業](#)



## ○地域づくりの意識の醸成

学習者同士の交流や情報交換の機会を設け、コミュニティの形成を促進します。また、地域社会の活動への参加意識を高めることで、コミュニティの再生を目指します。

## ②人材の育成

### ○地域リーダーの養成

生涯学習講師スキルアップ講座(創造都市・文化振興課)、地域スポーツ指導者養成事業(スポーツ振興課)、青少年リーダー養成事業(こども若者政策課)など、様々な分野でリーダーを養成します。そして、市民主役の生涯学習を推進するため、これらのリーダーが活躍できる場も提供していきます。

### ○地域ボランティアの養成

地域学校協働活動ボランティア講座(創造都市・文化振興課)、読み聞かせボランティア養成講座、音訳・点訳ボランティア養成講座(中央図書館)、樹林管理ボランティア育成講座(緑政課)など、多様なボランティアを養成する事業を実施します。市民の皆さんのボランティア意識を尊重しながら、養成と活動の場を提供していきます。



学びの広がりは無限です。

生涯学習はあなたのためにあります。

あなたも生涯学習に取り組んでみませんか。

浜松市には、皆さんの学びを支えるたくさんの機会や施設があります。

そこではきっと新たな学びや出会いが待っています。

ぜひ、足を運んでみてください。



## 4. 皆さんの学びを支える施設

### 地域の学習・交流拠点

協働センター、支所やふれあいセンター、文化センター、文化会館、学校など、地域の学習ニーズに応じて、生涯学習を総合的に支援する施設で、地域における生涯学習の拠点となる施設です。「学習情報の発信」「学習機会の提供」「学習相談」など、地域の生涯学習を推進するために重要な役割を果たします。

また、地域の学習ニーズや学習内容に応じて、様々な学びの施設と連携して生涯学習を推進していきます。



### 様々な学びの施設

生涯学習の場となり得る、市民の皆さんにとって身近な施設のことです。

施設の設置目的に応じて、学習機会を提供する施設もあれば、学びのために集う場所を提供する施設もあります。

|                   |   |
|-------------------|---|
| 専門性の高い施設          | 図書館、博物館、美術館、浜松科学館   |
| 児童・青少年の育成関係の施設    | かわな野外活動センター、青少年の家、浜松こども館 など   |
| 保健、福祉、防災関係の施設     | 保健福祉センター、福祉交流センター、ふれあい交流センター、防災学習センター、コミュニティ防災センター など                             |
| 文化の向上、地域づくりに関する施設 | アクトシティ浜松、地域情報センター、市民協働センター、クリエート浜松、浜北文化センター、雄踏文化センター、天竜壬生ホール、みをつくし文化センター、あいホール など |
| 健康、スポーツ関係の施設      | 浜松アリーナ、グリーンアリーナ、トビオ(総合水泳場)、武道館、天竜ボート場、庭球場、運動公園 など                                 |
| 地域の集会施設           | 自治会や地域団体などが管理運営する集会所や公会堂などの施設   |

### ◆生涯学習ハンドガイド(各施設の情報はこちらから)



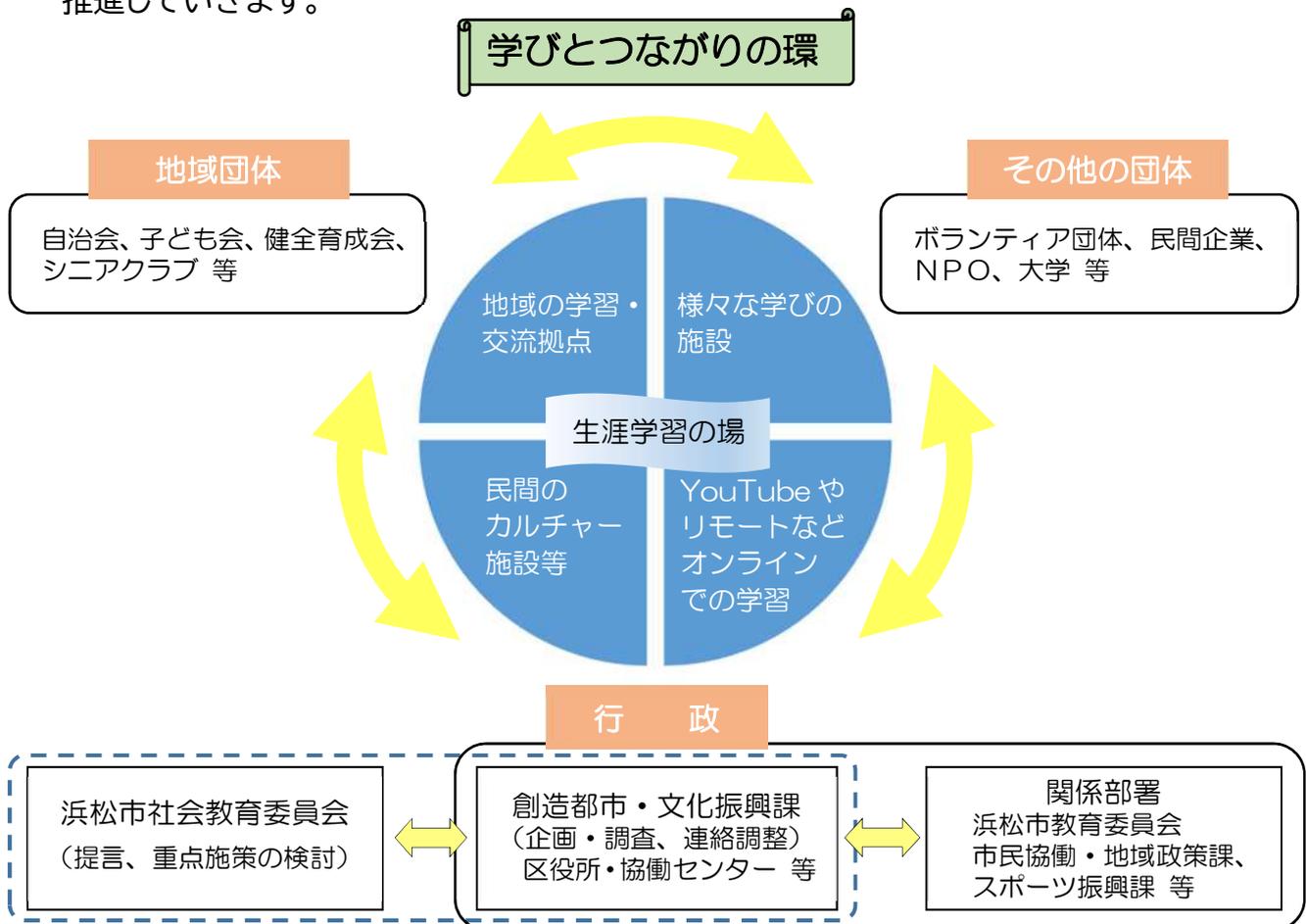
## 5. 生涯学習推進大綱の位置づけ

浜松市生涯学習推進大綱は、浜松市総合計画基本計画の個別計画として、生涯学習の推進に係る基本的な考え方や方向性を示すものです。

浜松市総合計画を上位計画とし、その教育、文化、スポーツ分野における分野別計画を踏まえた個別計画として位置づけています。

### 【推進体制】

大綱に基づき、本市における生涯学習の取り組みをより一層推進し、実効性を高めていくため、創造都市・文化振興課をはじめ関係部署、浜松市社会教育委員会は、地域団体、その他の団体と相互に連携、協働して「学びとつながりの環」をつくり、生涯学習を推進していきます。



大綱を踏まえて立案した政策・施策・事業は、浜松市総合計画の実施計画となる戦略計画へ盛り込みます。

戦略計画は、計画(Plan)－実行(Do)－評価(Check)－見直し(Action)のサイクルのもと、毎年度全庁的に策定・評価が進められており、大綱の推進状況の管理は、戦略計画の進行管理の中で行い、浜松市社会教育委員会へその推進状況を報告し、意見や提言をいただきます。

## 付属資料

### 資料1 浜松市生涯学習推進体系

| 目指す姿                               | 基本的な方向性   | 推進項目  | 主な取り組み   |
|------------------------------------|---|---|--|
| <p>学びを通して市民一人ひとりの幸福度が向上するまち・浜松</p> | <p>I<br/>いつでも、だれでも、希望に応じて<br/>学ぶことができる環境づくり</p> | <p>①学習情報の提供<br/>多様な情報媒体を活用するとともに、学習担当者の資質向上を図ることで、学習情報の提供に努めます。</p>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種媒体による講座情報の周知</li> <li>・職員研修の実施</li> </ul>  |
|                                    |   | <p>②学習機会の充実<br/>自己啓発や生活向上、地域づくりに資する学習機会を提供するとともに、市内の大学などと連携して学び直しの機会を拡充するなど、学習機会の充実を図ります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働センター等での各種講座の開催</li> <li>・市内大学との連携による講座の開催</li> <li>・子どもの才能を伸ばす課外講座の開催</li> <li>・施設の指定管理者による生涯学習事業の実施</li> <li>・浜松市職員による出前講座の実施</li> <li>・各種団体等との共催による生涯学習事業の実施、後援</li> </ul> |
|                                    |   | <p>③学習環境の向上<br/>専門性の高い施設の役割の充実、協働センターなどの学習関連施設の耐震性向上やユニバーサルデザイン化の推進などにより、学習環境の向上を図ります。</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性の高い施設である図書館、博物館、美術館、浜松科学館の役割の充実</li> <li>・施設の整備</li> </ul>  |
|                                    | <p>II<br/>学びを生かして、発展させる<br/>ことができる仕組みづくり</p>    | <p>①参加・活動の拡大<br/>市民が講師として活躍する場の創出や地域人材の登録などにより、参加・活動の場の拡大を図るとともに、地域づくりの意識高揚に努めます。</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材発掘、人材登録体制の整備</li> <li>・学習成果を発揮する機会や場づくりと啓発活動</li> <li>・地域づくりの意識高揚</li> </ul>   |
|                                    |   | <p>②人材の育成<br/>地域リーダーや地域ボランティアの養成などにより、人材の育成を図ります。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域リーダーの養成</li> <li>・地域ボランティアの養成</li> </ul>   |

**資料2** 大綱改定にかかわる浜松市社会教育委員会の開催経過

令和5年度

| 回   | 開催日            | 内 容            |
|-----|----------------|----------------|
| 第3回 | 令和6年3月 18 日(月) | 生涯学習推進大綱改定に向けて |

令和6年度

| 回   | 開催日               | 内 容  |
|-----|-------------------|--|
| 第1回 | 令和6年7月3日(水)       | 生涯学習に関する意識活動実態調査の経過及び今後の予定について                   |
| 第2回 | 令和6年 10 月8日(火)    | 生涯学習に関する意識活動実態調査の結果について                          |
| 第3回 | 令和6年 12 月 19 日(木) | 生涯学習推進大綱の構成について                                  |
| 第4回 | 令和7年3月 26 日(水)    | 生涯学習推進大綱の改定骨子(案)について<br>生涯学習推進大綱改定の中間報告骨子(案)について |

※令和6年6月 14 日(金)～7月 15 日(月) 生涯学習に関するアンケートを実施

令和7年度

| 回   | 開催日               | 内 容                                 |
|-----|-------------------|-------------------------------------|
| 第1回 | 令和7年7月8日(火)       | 生涯学習推進大綱(改定素案)について                  |
| 第2回 | 令和7年 10 月 10 日(金) | 生涯学習推進大綱(案)について<br>パブリックコメントの実施について |
| 第3回 | 令和8年1月 26 日(月)    | パブリックコメントの結果について                    |
| 第4回 | 令和8年3月○日(○)       |                                     |

※令和7年 11 月から 12 月 パブリックコメント実施

※令和8年2月 パブリックコメントに寄せられた意見に対する市の考えを公表

**資料3** 浜松市社会教育委員会委員名簿(令和5年度～令和7年度)

第37期

| 任期<br>選出区分 | 令和4年度～令和6年度    |                |                |
|------------|----------------|----------------|----------------|
| 学識経験者      | 李 受眞           |                |                |
| 社会教育関係者    | 松井 里華<br>中村 朋子 | 飛田ひさ子          | 村上 剛           |
| 学校教育関係者    | ○ 山本 巖         | 松本 孝久<br>(5年度) | 花井 清孝<br>(6年度) |
| 家庭教育関係者    | ◎ 晝馬 るみ        | 近藤 潤子          | 澤根 緑           |

第38期

| 任期<br>選出区分 | 令和7年度～令和9年度 |        |       |
|------------|-------------|--------|-------|
| 学識経験者      | 李 受眞        |        |       |
| 社会教育関係者    | 松井 里華       | 飛田ひさ子  | 鈴木 英之 |
| 学校教育関係者    | ◎ 山本 巖      | ○ 谷口 卓 | 久保 賢治 |
| 家庭教育関係者    | 石田みゆき       | 内藤 明子  | 澤根 緑  |

◎委員長 ○副委員長

詳しくはこちら

[浜松市社会教育委員会](#)




## 浜松市生涯学習推進大綱

令和8年3月発行

浜松市 市民部 創造都市・文化振興課

〒430-8652 浜松市中央区元城町 103-2

TEL:053-457-2413 fax:050-3730-2887

E-mail:shogaigk@city.hamamatsu.shizuoka.jp

[浜松市の生涯学習](#)

